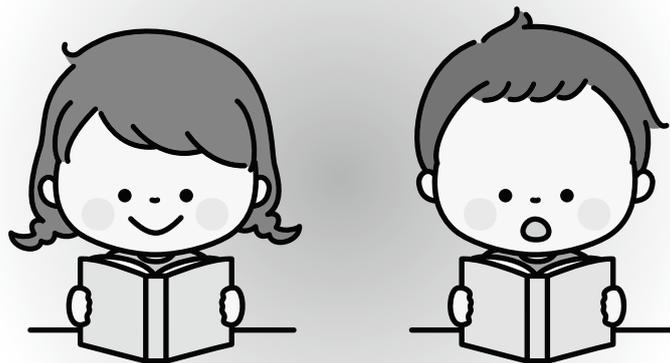


第4次総社市子ども読書活動推進計画

～楽しみ よろこび どんどん読書～



令和2年3月

総社市・総社市教育委員会

目 次

はじめに	1
第1章 第4次総社市子ども読書活動推進計画策定にあたっての考え方	
1 計画の策定にあたって	2
2 子どもの読書活動推進の意義	2
3 計画の目標	3
(1) テーマ（基本理念）	
(2) 基本目標	
(3) 数値目標	
4 計画推進の基本的な考え方	4
第2章 子どもの読書活動推進のための方策	
1 家庭・地域における読書活動の推進	5
(1) 第3次計画の成果と現状	
(2) 課題	
(3) 第4次計画の方策	
2 学校園における読書活動の推進	7
(1) 第3次計画の成果と現状	
(2) 課題	
(3) 第4次計画の方策	
3 市図書館における読書活動の推進	9
(1) 第3次計画の成果と現状	
(2) 課題	
(3) 第4次計画の方策	
第3章 資料	
・ 読書についてのアンケート	14
・ 子どもの読書活動の推進に関する法律	18
・ 用語解説（五十音順）	20

はじめに

子どもの読書活動は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」の基本理念に掲げるとおり、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできない」ものであり「すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない」ものであります。

総社市では、「楽しみ よろこび どんどん読書」というテーマのもと、平成17年3月に「総社市子ども読書活動推進計画」（第1次）を、平成22年3月に「第2次総社市子ども読書活動推進計画」を、さらに平成27年3月に「第3次総社市子ども読書活動推進計画」を策定し、15年にわたって家庭、地域、学校園、市図書館が中心となり、関係機関や団体と連携しながら一丸となって、創意ある取組を推進してまいりました。

この結果、子ども向け蔵書の整備、啓発活動、広報活動・情報発信の充実、子育て支援事業、読み聞かせボランティア等の人材育成、公民館図書室の充実、他機関との連携強化による推進という目標ごとに、確かな成果を上げることができました。

一方では、子どもたちの状況に目を移すと、スマートフォンの普及やSNS等コミュニケーションツールの多様化により、子どもたちを取り巻く生活環境が大きく変化し、読書離れ、語彙力の低下等、読書習慣の形成に影響を及ぼすことが懸念されております。

このたび、国が平成30年4月に第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」を、岡山県が平成31年3月に「第4次岡山県子ども読書活動推進計画」を策定したことを受けて、総社市では、これまでの取組の成果を検証し、「第4次総社市子ども読書活動推進計画」を策定する運びとなりました。

今後、総社市ではこの推進計画のもと、「楽しみ よろこび どんどん読書」をさらに推進し、子どもたちが読書を楽しみながら、一人ひとりのかけがえのない人生の中で、味わい深い本の世界に触れ、豊かに生きていくことができるよう働きかけてまいりますので、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、この推進計画の策定にあたり、貴重なご意見を賜りました「第4次総社市子ども読書活動推進計画策定推進員」の皆様、パブリックコメントにてご意見をお寄せいただいた市民の皆様にご心より感謝申し上げます。

令和2年3月

総社市教育委員会
教育長 山中 榮輔